

2026年 8月 19日
公益社団法人 日本写真家協会 (JPS)

日本写真家協会 日本写真保存センター委員会主催

●2026年度秋季特別セミナー

「写真原板や写真プリントを活用した時代考証」

○概要：日本写真保存センターは、先人が記録した貴重な歴史的・文化的資産である「写真原板（フィルム・ガラス乾板等）」を散逸や劣化から守り、デジタルアーカイブ化を通して社会へ還元・利活用することを目的として活動しています。写真原板やプリントは、当時の世相や人々の営みを精密に伝える「一次史料」であり、現代のメディア表現や学術研究におけるリアリティと信頼性を担保する重要文化財です。

近年、テレビ番組や映画、出版物などの歴史コンテンツにおいて時代表現の正確性が強く求められる中、当センターが保存・管理する写真資料の社会的役割は益々高まっています。

本セミナーでは、報道写真家・ノンフィクション作家であり、NHK連続テレビ小説『あんぱん』の戦時考証をはじめ数多くの映像・歴史作品の監修を手掛ける神立尚紀氏を講師にお迎えします。長年の取材や史料検証に基づく豊富な知見を通じ、写真資料から正確な歴史事実を読み解いて現代の表現へ昇華させる実践的手法を学びます。歴史の「生きた証言者」である写真をアーカイブし、未来へ活用していくことの今日的な意義を深く探ります。

○講師：神立 尚紀 氏（写真家・ノンフィクション作家）

○日時：2026年10月20日（火） 14:00～16:00（13:30受付開始）

○会場：JCIIビル 6階会議室（東京都千代田区一番町25）
*オンライン配信あり

○申し込み方法：JPSホームページの申込フォーム、
または右記のQRコードよりお申込みください。

<https://forms.gle/dY1PCcZymq6JFYsw5>



神立 尚紀 氏

撮影／神立尚紀（セルフポートレート）

○定員：60名（先着順、満席の場合のみご連絡します）

○参加費：無料

問い合わせ先

公益社団法人 日本写真家協会

〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地JCIIビル303

電話：03-3265-7451

E-mail：info@jps.gr.jp

URL：https://www.jps.gr.jp/

○講師プロフィール

神立 尚紀（こうだち なおき）写真家 / ノンフィクション作家1963年、大阪府生まれ。日本大学芸術学部写真学科卒業。講談社「フライデー」の専属カメラマンとして、報道・政治・事件・グラビアなどあらゆる分野の第一線で活躍。のちにフリーランスの写真家・文筆家として独立。公益社団法人 日本写真家協会（JPS）会員。

写真家としての活動と並行して、ライフワークとして第二次世界大戦における旧日本海軍の将兵（艦船乗組員、零戦パイロットなど）の生存者、遺族への極めて緻密なインタビュー取材を30年以上にわたり継続。生々しい証言と膨大な歴史的資料・写真の検証に基づいたノンフィクション作品を精力的に発表し続けている。また、写真雑誌『フォトコン』にて、2002年から現在まで24年間にわたり続く名物連載『一生懸命フォトグラファー列伝』の取材・撮影・執筆を担当。全国の表現者たちの人間ドラマを記録し続け、写真文化の普及と記録の重要性を伝える活動も広く展開している。その卓越した取材力と史料解説の知見は各方面から高く評価されており、2025年上半期のNHK連続テレビ小説『あんぱん』の戦時考証を担当。その他、戦史や近代史をテーマとしたNHK等のテレビ番組や、映画・映像作品における時代考証・監修・論説を数多く手掛ける。

■ 主な著書『決定版・零戦 最後の証言（全3巻）』『撮るライカⅠ／Ⅱ』（光人社）『祖父たちの零戦』『太平洋戦争の真実』『図解・カメラの歴史』（講談社）『一生懸命フォトグラファー列伝』（日本写真企画）『特攻の真意』『戦士の肖像』（文藝春秋）『カミカゼの幽霊』『ドキュメント 軍人たちの戦後』（小学館）ほか多数



神立氏が長年にわたり収集した歴史的資料・写真群。